

Sample

全体から一部抜粋したサンプルです

ガンマ分析アプリケーション 画面デザインガイド

[1.0]

2025年●月●日

ハーツテクノロジー株式会社

この資料は、Windowsソフトウェア画面の開発用に私たちがデザイン指定を行う際に作成する資料の見本です。

対象は、実際には存在していないソフトウェアです。

なお、実際に作成する資料はこのサンプルの5倍程度のボリュームになります。

本書について

本ガイド(以降「本書」)はガンマ分析アプリケーション(以降「本アプリ」)の画面デザインに際して参考すべき項目を記載しています。ただし、記載しているのは汎用的なデザインの指定のみです。個別の画面に対する指定は行なっていません。

本書の閲覧対象者はアプリケーションの企画・設計者および開発者を想定しており、Windowsソフトウェア開発に対して基本的な知識を有することを前提としています。

適用範囲

本書は、本アプリ全ての画面表示を対象にしています。

ただし、本アプリから呼び出されるWindows OSが提供するダイアログ(ファイルを開くなど)については範疇外とします。

ワーディング

本書には、ワーディングに関する規定は記載していません。

ワーディングデザインに関しては、JISの一般的な規則に従うことを前提にしています。

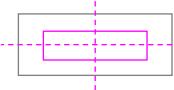
なお、本書内の解説図や画面例内に使用しているワーディングは仮のものです。

本書の記載形式について

本資料上の説明図、デザイン図はWindows 10でソフトウェアを表示した場合のものです。
WPFにより画面レイアウトを行うことを前提とした指定を行なっています。

位置やサイズ、画像パートに関する情報は以下の規則で記載しています。

- img* 画像ファイル名は「img*〇〇〇.png」というルールで記載しており、「*」以降がファイル名となります。
※「img*」部分はファイル名に含まれません。
また、特定のファイルを指定できない(バリエーションのある)箇所では「_xxx」という省略形となっています。
- size* 画像のサイズは「size*W〇px, H〇px」というルールで記載しています。
- =XXpx 余白サイズを表しています。 (XXは数値)



点線は、エリア内の中間に配置することを意味しています。 上下中央、左右中央、上下左右中央などがあります。



資料内のアイコン、画像パート類には仮のものです。
最終パートを使用した画面ではないことをご了承ください。

デザインポリシー

本アプリは、以下のポリシーでデザインを行っています。

Windows 10のUIデザインと親和性が高いこと

2019年以降は多くのユーザーがWindows 10環境に移行しています。そのため、画面や各種UI要素の見た目についてはWindows 10と同類にし、ユーザーがWindows 10およびMS Officeとともに本アプリを操作することに違和感を覚えないようする必要があります。

本アプリを設計する際は、特殊な機能を提供する以外に独自の見慣れないデザインや操作方式は使用しないことをポリシーにします。

Windows 10のUIデザインについては、以下も参照してください。

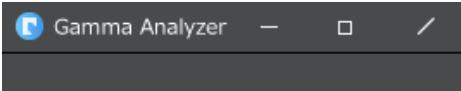
<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/mt634411.aspx>

※Windows 10 UXデザインのダウンロードページ

※2025年現在はWindows11がターゲットです。この資料はWindows10時代に作成されたものです。

デザイン仕様

本アプリは以下の要件によりデザインを行っています。

| | |
|------------|---|
| 対象とするOS | Windows 10 以降 |
| ウィンドウ最小サイズ | ソフトウェア上はタイトルバーとステータスバー表示を最小高さとし、幅はアプリケーションアイコンとタイトルに加えてタイトルバーボタンを表示できる状態を最小と想定する。  |
| ウィンドウ最大サイズ | 無制限の想定 |
| 操作方式 | マウスとキーボード(タッチパネル対応は行わない) |
| 言語 | 日本語、英語 (デザインに際しては日本語を優先する) |
| 開発フレームワーク | WPF |

なお、デザイン検討(スケッチ作成)は以下で行っています。

| | |
|----------|--|
| OS | Windows 10 |
| ウィンドウサイズ | 基本画面：W1366px, H728px(ウィンドウ枠線含まず) ※基本画面のスケッチサイズは、FWXGA(W1366px, H768px)のWindows10画面からタスクバーを除いた領域に相当する。 |

多言語対応

本アプリは多言語対応を想定しています。

デザイン検討は日本語表示で行なっていますが、以下のようにして多言語対応をしています。

文字領域サイズにレイアウトが追従して変化しない箇所(固定レイアウト)は、日本語に対して文字領域を広めに確保します。

本アプリデザインにおいては、以下により固定レイアウト要素のサイズを決めています。

| | |
|--------------|--|
| 文字表示領域の多国語対応 | 日本語文字幅に対して140%以上を多言語文字幅として想定し、領域幅を確保する |
|--------------|--|

翻訳結果により文字量が異なるため一律にはできませんが、一般的に140%の確保が通説です。

以下は日英の文字幅見本です。

初期設定
Initial settings

日本語:英語 170%

削除
Delete

日本語:英語 150%

保存
Save

日本語:英語 120%

アクセシビリティ

Microsoftのガイドライン(<https://msdn.microsoft.com/ja-jp/library/windows/desktop/bb545462.aspx>)に準拠します。
各種障碍への対応は以下を本アプリの指針とします。

| | |
|------|--|
| 視覚障碍 | 意味を伝えるときに、色だけに頼らないこと。色は、テキスト、デザイン、場所、またはサウンドの意味を補強する手段としてのみ使用することが望ましい。 音声読み上げ機能に対応するため、文字を併記せずアイコン等のグラフィック表示のみの要素については必ず「ヒント」を組込むこと。 |
| 聴覚障碍 | 特段の配慮は行わなくてよい。 |
| 四肢障碍 | 特段の配慮は行わなくてよい。 |
| 知的障碍 | 特段の配慮は行わなくてよい。 |
| 発作障碍 | 光ったり点滅するテキストやオブジェクト、その他の 2 ~ 55 Hz の周波数範囲で光ったり点滅する表示を行ってはならない。 アニメーションを使用する際は、注目させる対象がユーザーの操作を中断するに値するものであること。 ユーザーによっては、特に視野周辺部の画面の動きに対してかなり敏感になることに留意すること。 |

アクセシビリティ

表示要素の色については以下に従ってデザインを行なっています。

| | |
|---------------|--|
| 文字と背景色のコントラスト | JIS X8341-3(W3C-WCAG2.0)の等級AAを達成します。 そのため、全ての文字が4.5:1以上のコントラストで表示できるようにします。 ※本アプリには「大きい文字」に相当する表示は存在しない前提です。 ※非活性等の特殊な表示は含みません。 |
| カラーバリアフリー | P型およびD型にも配慮した表示とします。 ただし、グラフや波形についてはカラーバリアフリー対象とはしません。 |

スタイルの基本方針

基本画面系ウィンドウとダイアログでは異なるスタイルを適用します。

ダイアログはWindowsの標準的な表示スタイルを適用しますが、基本画面系は本アプリ独自の表示スタイルを適用します。

両者は大きく異なるスタイルであり、基本画面系は独自の設計・デザイン・開発が必要になります。



1-1. 基本画面(独自スタイル)

基本画面は、本アプリ独自の「ダーク基調スタイル」を適用します。

ボタンやスクロールバー等のコントロールパーツに独自カラーを本資料の指定に基づいて当てはめて開発します。



1-2. ダイアログ(Windows標準スタイル)

OSが提供する標準的なスタイルを適用することで、ユーザーによる表示設定変更に応じて見た目が変更されたり、OSのアップデートにより表示の不具合が発生しにくくなります。
※上記理由によりWindows標準スタイルを真似て独自の部品開発は行わないことを推奨します。

1-1. 基本画面レイアウト

文字

基本画面は以下を標準として適用します。
明確な理由を持つ場合は例外も存在します。

| | | |
|----------|--|--|
| フォントタイプ | 日本語環境 | Meiryo UI |
| | 英語環境 | Segoe UI |
| フォントサイズ | 10pt | |
| フォントスタイル | ノーマルを標準とする。太字は特に強調する場合にのみ使用する。 斜体や下線、打ち消し線は基本的に使用しない。 | |
| フォントカラー | 白 (#e8e8e8) | 完全な白(#ffffff)だと文字が暗背景に対して目立ちすぎるため若干暗くする。 |
| | やや暗い白 (#d8d8d8) | ラベルは「白(#e8e8e8)」と差別化するために「白」に対して若干暗くする。 |
| | 黒 (#202020) | 完全な黒(#000000)だと文字が白背景に対して目立ちすぎるため若干暗くする。 |
| | 白の非活性 (#50e8e8e8) | 白文字色の約30%不透明 |
| | 黒の非活性 (#50202020) | 黒文字色の約30%不透明 |

独自のダークスタイル

基本画面系はWindowsの標準スタイルを使用せず、本アプリ独自のスタイルを適用します。

ダークグレー基調の背景色を全面に使用します。

ボタンなど各種のコントロールやUIコンポーネントも独自の見た目になります。



基本背景色

このダークスタイル背景色の基本となるのは、#484a4c(72.74.76)です。
この色は完全なグレーではなく、ごくわずかに青みがかったグレーです。

使用する色

適用する基本色です。

以下の色を使って、個別パートにも展開していきます。

画面背景系



基本背景
#404244



基本背景区切線
#000000



グラフウィンドウ背景
#181818



リスト背景(奇数行)
#3c3e40



リスト背景(偶数行)
#4c4e50



リストウィンドウ枠線
#787a7c



リストタイトル背景
#404244

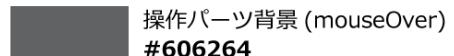
操作要素系



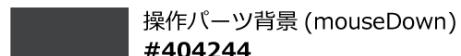
操作パート背景
#585a5c



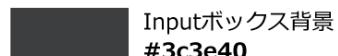
操作パート枠線
#707274



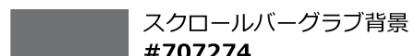
操作パート背景 (mouseOver)
#606264



操作パート背景 (mouseDown)
#404244



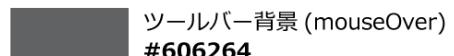
Inputボックス背景
#3c3e40



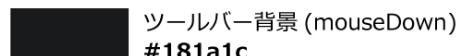
スクロールバー・グラブ背景
#707274



ツールバー背景
#404244



ツールバー背景 (mouseOver)
#606264



ツールバー背景 (mouseDown)
#181a1c



ツールアイコン
#a0a2a4

状態系



リストや項目の選択中
#607084



重要な数値等のアクセント
#c3e968



異常・危険
#ff0080



正常表現
#60a0ff



注意喚起
#ffb400



ブランド表現
#70c8ff - #3c98e8

構成

基本画面は以下のブロックにより構成されます。

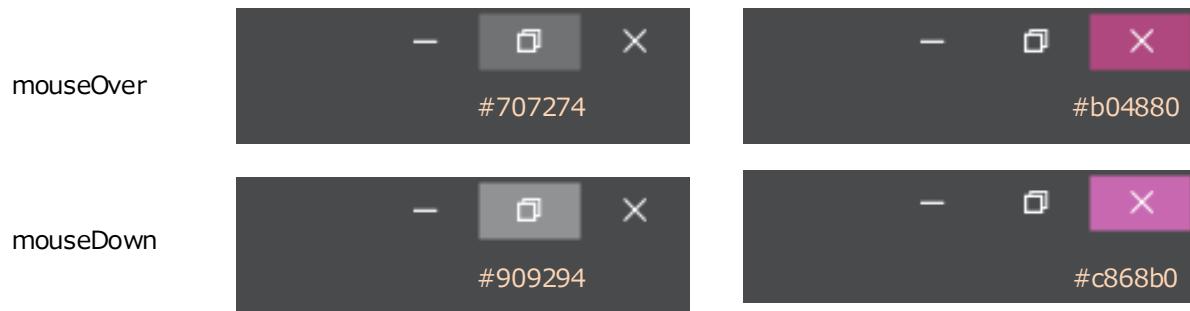


タイトルバーとメニューバー

タイトルバーとメニューバーはWindows OSの標準パートを使用して、カラー設定のみカスタマイズします。

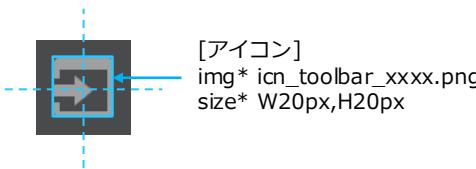
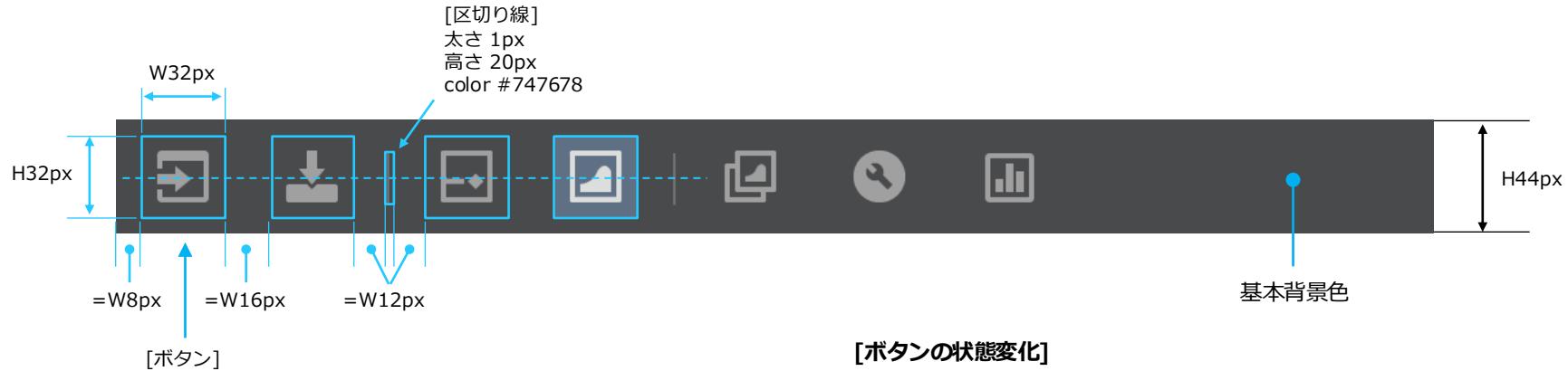


[右上ボタンの状態変化]



ツールバー

ツールバーは、OSのコンポーネントではなく、独自開発します。

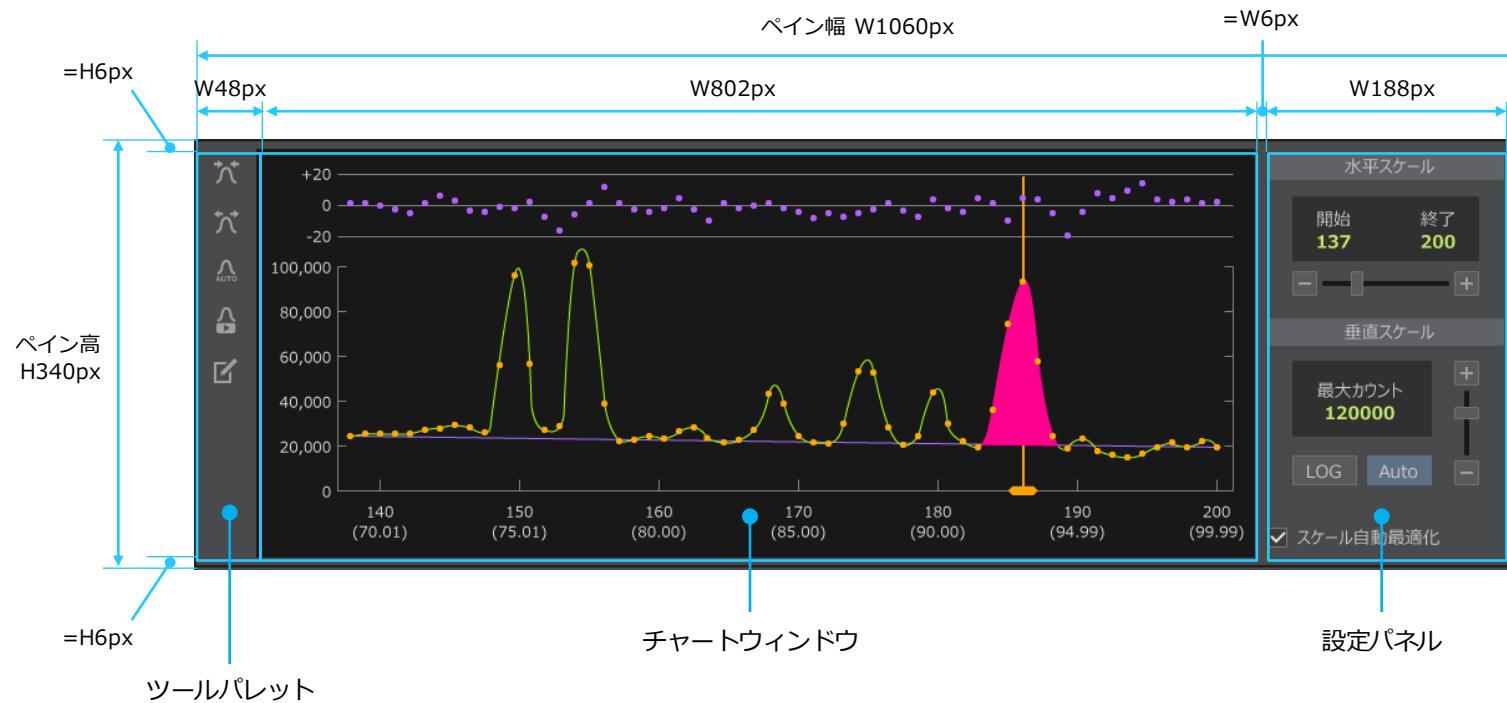


- [通常]
ボタンcolor ツールバー背景と同色
アイコンcolor #a0a2a4
- [MouseOver]
ボタンcolor #5a5c5e
アイコンcolor #a0a2a4
- [MouseDown]
ボタンcolor #6c6e70
アイコンcolor #a0a2a4
- [ON状態]
ボタンcolor #607084
アイコンcolor #dcdee0
- [非活性]
ボタンcolor ツールバー背景と同色
アイコンcolor #4ca0a2a4 (30%不透明)

分布チャートペイン

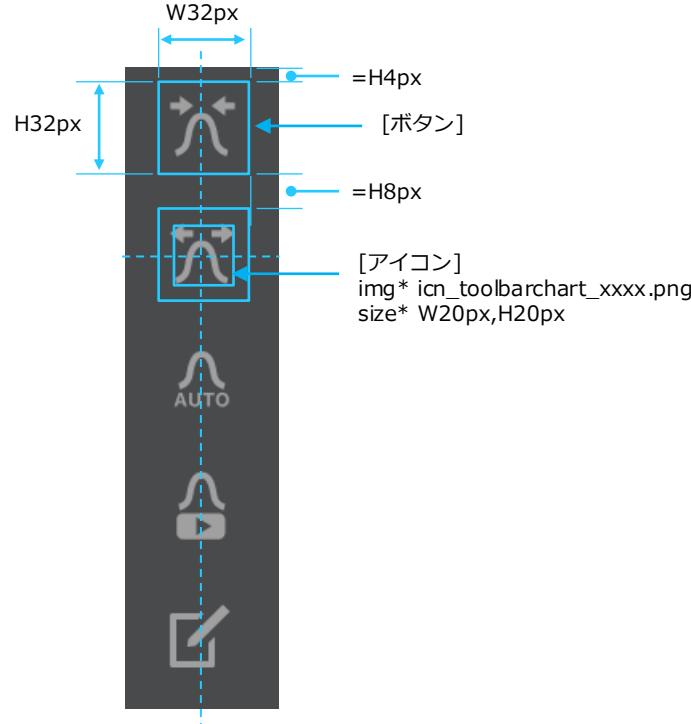
このペインサイズは固定です。ウィンドウサイズの変化に対応した拡縮は行いません。

ペイン内は以下の3ブロックで構成されます。



分布チャートペイン

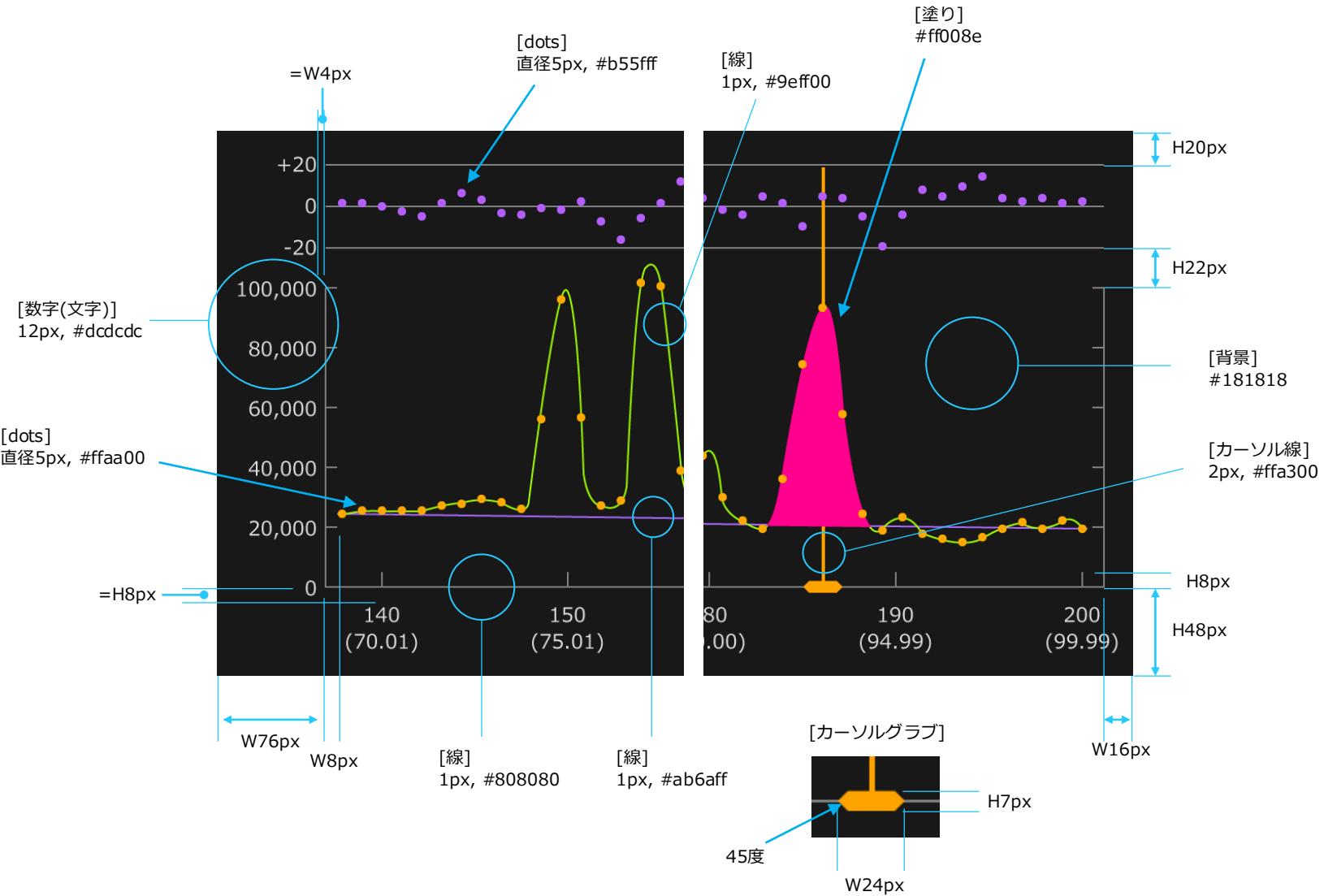
ルパレットブロック内のレイアウトです。



ボタンの状態変化はツール
バーと共通。

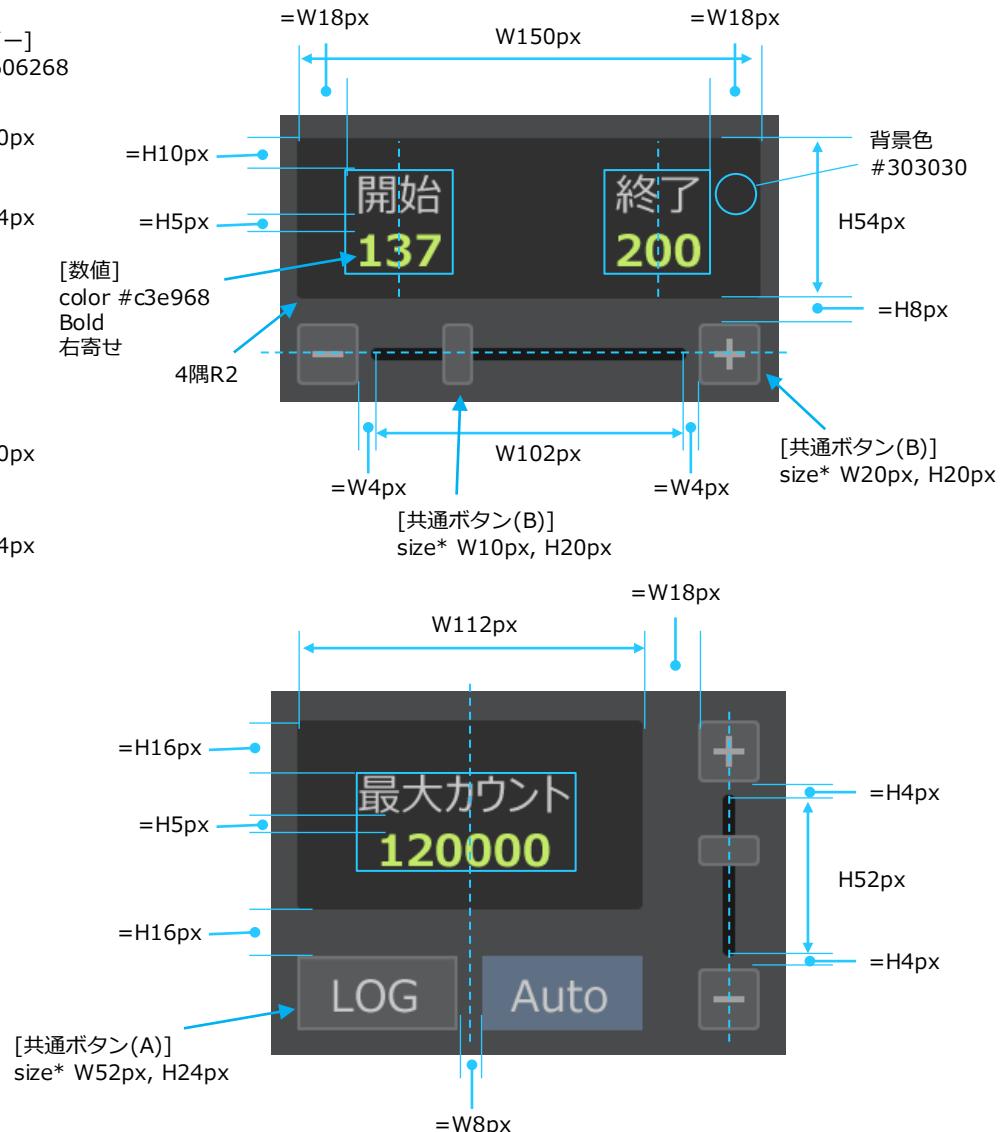
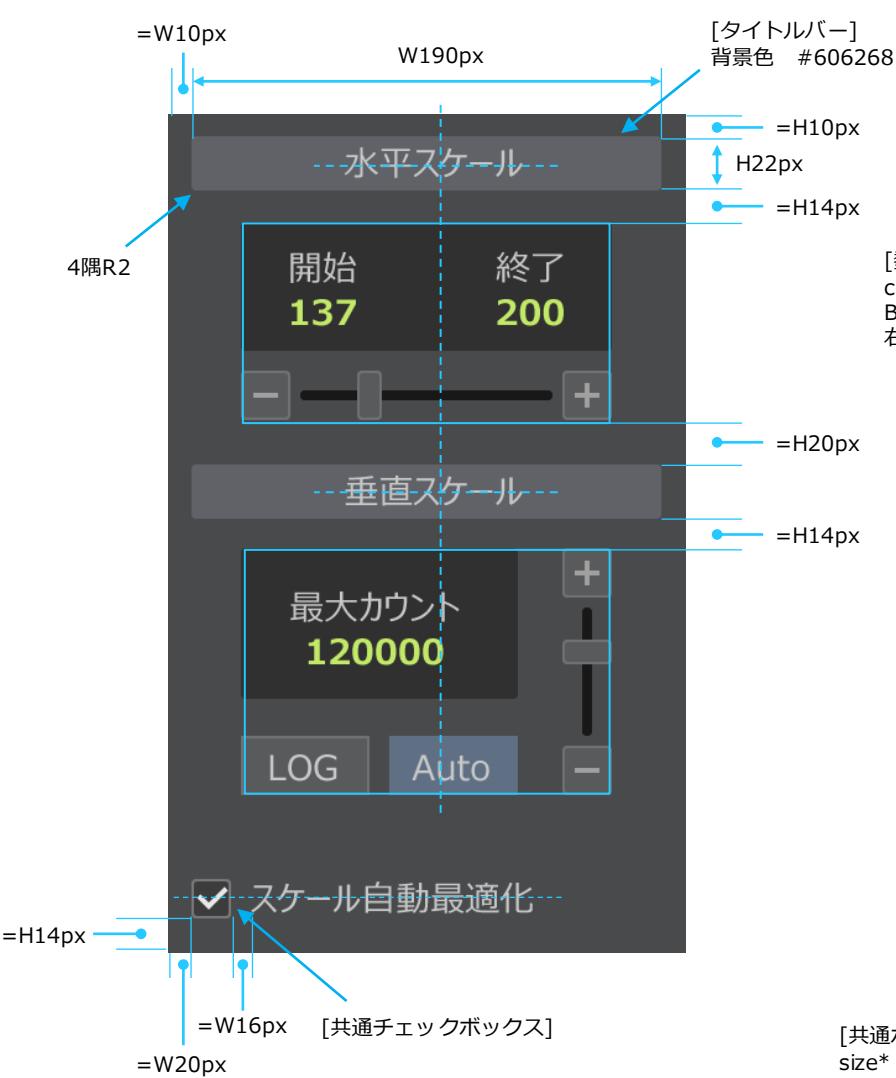
分布チャートペイン

チャートウィンドウブロック内のレイアウトです。



分布チャートペイン

設定パネルブロック内のレイアウトです。



見本資料のため以降省略

履歷

2025/MM/DD (1.0版) 初版